

平成21年12月期 第2四半期決算説明資料

Clean, Health, Safety



 **興研株式会社**

平成21年 8月 31日

平成21年12月期 第2四半期決算概要

営業の経過及び成果

当第2四半期累計期間（平成21年1月1日～6月30日）におけるわが国経済は、自動車、電子部品等の一部業種では在庫調整が進展するなど、急激かつ大幅な市場の収縮には一応の歯止めが掛かって来たものの、依然として景気回復とは言えない状況が続いております。

このような厳しい経営環境の中、当社のマスク関連事業部門も防じんマスク、防毒マスクの主力市場である製造業の生産調整、雇用調整の影響を受け大幅な販売減となりました。その一方で、**石綿対策用の電動ファン付き呼吸用保護具**の拡販と医療機関向けの**新型インフルエンザ感染対策用マスク**の販売増があり、同部門の売上高を33億72百万円、前年同期比5.7%減に留めることができました。

環境関連事業部門においては、医療機関からのホルムアルデヒド対策用プッシュプル型換気装置の引き合いが第2四半期に入ってから堅調で、**解剖実習用換気浄化システム**や病理診断用換気装置等の販売を上積みすることができ、売上高は7億円、前年同期比133.6%増と予想を上回る実績を上げることができました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、40億72百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

利益につきましては、突発的な新型インフルエンザ感染対策用マスクの需要増加は、24時間体制による増産対応を余儀なくされたためコストが上昇し、増益にはほとんど寄与できなかったこと、そして日経平均株価の下落による退職給付費用1億43百万円を計上したことから、営業利益は3億96百万円（前年同期比0.5%増）に留まりました。

また経常利益は、コミットメント型シンジケートローンのアレンジメントフィーの計上等により3億8百万円（前年同期比8.9%減）となり、四半期純利益は1億81百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

なお当第2四半期累計期間の業績予想に対しては、売上高1億22百万円（予想比3.1%増）、営業利益36百万円（予想比10.2%増）、経常利益8百万円（予想比3.0%増）、四半期純利益21百万円（予想比13.5%増）それぞれ上回りました。



石綿対策用
電動ファン付き呼吸用保護具



新型インフルエンザ
感染対策用マスク



プッシュプル型換気装置
解剖実習用
換気浄化システム

売上高・売上構成比の推移

(百万円)



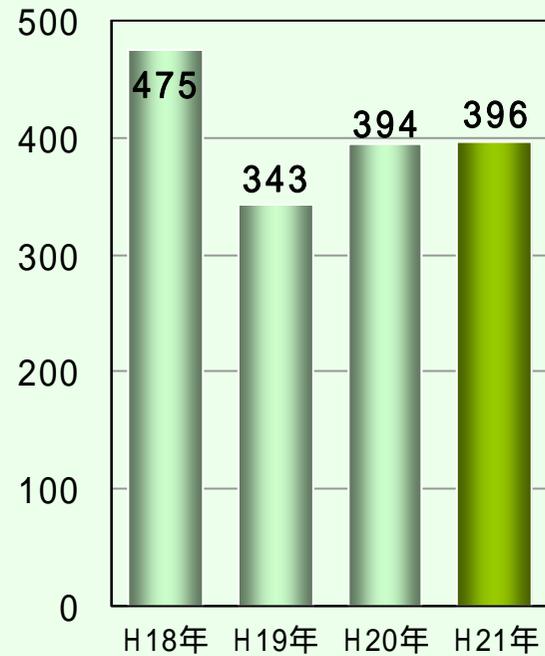
■ 環境改善工事・機器	医療機関からのホルムアルデヒド対策用プッシュプル型換気装置の引き合いが引き続き堅調で、解剖実習用換気浄化システムや病理診断用換気装置等の販売を上積みすることが出来ました。
■ 防じんマスク・防毒マスク 関連その他製品	電動ファン付き呼吸用保護具は、本年4月施行の石綿障害予防規則の改正により、特定作業での使用が義務付けられたことにより、需要が増加しました。またトンネル作業や溶接作業用として好調に推移しています。
■ 防毒マスク	主力市場である製造業の生産調整、雇用調整の影響を受け大幅な販売減となりました。
■ 防じんマスク	

(百万円未満の端数切り捨て)

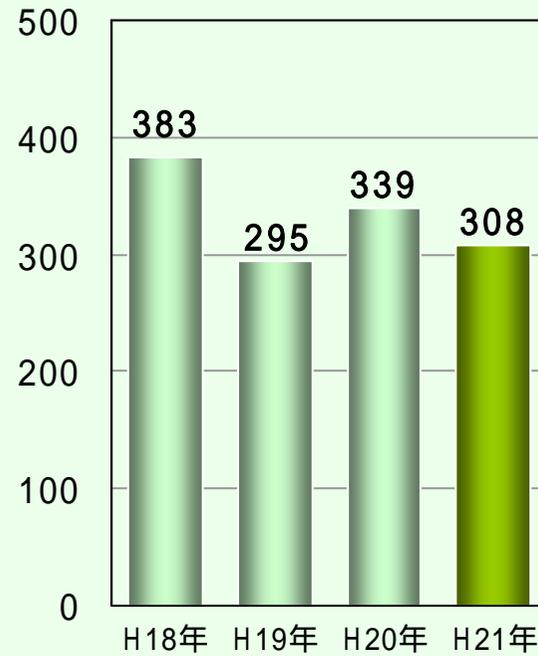
品目区分	平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
■ 環境改善工事・機器	219	5.7%	286	8.0%	299	7.7%	700	17.2%
■ 防じんマスク・防毒マスク関連その他製品	707	18.2%	587	16.4%	722	18.6%	778	19.1%
■ 防毒マスク	607	15.7%	666	18.6%	723	18.7%	604	14.8%
■ 防じんマスク	2,344	60.4%	2,046	57.0%	2,128	54.9%	1,989	48.9%
合計	3,879	100.0%	3,587	100.0%	3,874	100.0%	4,072	100.0%

営業利益・経常利益・四半期純利益の推移

(百万円) **営業利益**



(百万円) **経常利益**



(百万円) **四半期純利益**



(百万円未満の端数切り捨て)

主要な経営指標等の推移

(千円未満の端数切り捨て)

区分	第44期 平成18年12月期 第2四半期	第45期 平成19年12月期 第2四半期	第46期 平成20年12月期 第2四半期	第47期 平成21年12月期 第2四半期
売上高(千円)	3,879,182	3,587,229	3,874,967	4,072,480
営業利益(千円)	475,421	343,288	394,707	396,642
経常利益(千円)	383,267	295,633	339,282	308,928
四半期純利益(千円)	157,741	106,801	186,759	181,529
1株当たり四半期純利益	31円 51銭	21円 15銭	36円 97銭	35円 89銭
総資産(千円)	15,101,161	15,155,371	15,770,490	16,633,285
純資産(千円)	7,134,097	7,316,168	7,530,769	7,682,538
自己資本比率	47.2%	48.2%	47.6%	46.0%
1株当たり純資産	1,419円 20銭	1,448円 57銭	1,485円 40銭	1,511円 36銭

石綿の除去作業に電動ファン付き呼吸用保護具の使用が義務付けられました。

(隔離を行った作業場所での吹き付け石綿の除去)

石綿障害防止規則等の一部を改正する省令 (厚生労働省令 第9号)

公布：平成21年2月5日 施行：平成21年4月1日

今回、石綿障害予防規則 (以下、石綿則) が改正され、省令により義務付けられる石綿の除去作業等における対策内容が追加されました。特に、「隔離」を行った作業場所での吹き付け石綿の除去作業では、**電動ファン付き呼吸用保護具**又はこれと同等以上の呼吸用保護具の使用が義務付けられました。

石綿障害予防規則

第3節 石綿等を取り扱う業務に係るその他の措置

(以下、抜粋。 - 赤字部が改正により追加された -)

第14条 事業者は、石綿等の切断等の作業に労働者を従事させるときは、当該労働者に呼吸用保護具 (第6条第2項第1号の規定により隔離を行った作業場所において、同条第1項第1号に掲げる作業に労働者を従事させるときは、**電動ファン付き呼吸用保護具**又はこれと同等以上の性能を有する空気呼吸器、酸素呼吸器若しくは送気マスクに限る。) を使用させなければならない。

2 事業者は、石綿等の切断等の作業に労働者を従事させるときは、当該労働者に作業衣を使用させなければならない。ただし、当該労働者に保護衣を使用させるときは、この限りでない。

3 労働者は、事業者から前2項の保護具等の使用を命じられたときは、これを使用しなければならない。

電動ファン付き呼吸用保護具は、フィルターの捕集性能に加え、送風によって、接顔部などのすき間から粉じんが漏れ込みにくいという構造的な防護性の高さが認められています。そのため、アスベスト除去作業をはじめトンネル工事、溶接作業などでも広く使用されています。

当社は、本規則の改正に合わせた**電動ファン付き呼吸用保護具**の販促活動を行った結果、平成21年12月期第2四半期において、売上を伸ばすことが出来ました。



電動ファン付き
呼吸用保護具



石綿除去作業例

株主優待制度を新設いたしました。

当社製品の優先購入が出来るチケットを贈呈

当社が製造・販売しております呼吸用保護具（マスク）は、鳥インフルエンザやテロ等の不測の事態が発生した場合、全国から注文が寄せられ入手が困難となる可能性があります。今般の新型インフルエンザA（H1N1）型の発生は、国内においてマスクが不足するという状況をもたらしました。

本来この種の事態の発生は頻繁に起こるものではなく、対策用のマスクも日常生活においては不要です。また不測の事態に備えて家庭内にマスクをストックしておく場合には、適切な管理等が必要となります。

当社は、重要なステークホルダーである株主様の安全と安心を常時確保するためには、必要な時に優先してマスクをご提供する仕組みと、当社が株主様のストックヤードとしての保管・管理の機能を果たすことが有効であると考え、今回、株主優待制度を活用することにいたしました。

本制度は、単なる物質的な株主還元策ではなく、株主様への安全と安心のご提供を目的として新設するものです。

優待内容

当社製品（下記2製品）の優先購入ができるチケット『優先購入券（KOKEN安全・安心チケット）』を保有株式数（1,000株以上、3,000株以上、5,000株以上）、保有年数（1年以上、3年以上、5年以上）に応じて贈呈。同チケットには、100%割引と30%割引の2種類があり、それぞれ購入の上限数を設定。

優待製品

使い捨て式防じんマスク「サカキ式ハイラック350型」



火災・特殊災害避難用マスク「ライフマスター」



研究開発

Clean, Health, Safety

当社の研究開発は、当社の基本方針である『クリーン,ヘルス,セーフティ』の追求に対し、自由で独創的な技術開発とその多面的応用を目指して活動しております。とりわけ「労働安全衛生保護具」、「作業環境改善」については、長年の技術蓄積を持ち、信頼を勝ち得ている分野ですが、なお革新性の高い技術に挑んでいます。さらに未来技術の基礎開発・応用開発にプロジェクトチームを含めマトリックス型の研究体制を敷いております。

また、新製品の開発に際しては、環境負荷の少ない原材料の選定、並びに製品設計に努めております。なお、研究開発担当人員は73名、当第2四半期累計期間の研究開発費は、総額2億43百万円です。

オープンクリーンベンチ「KOACH」

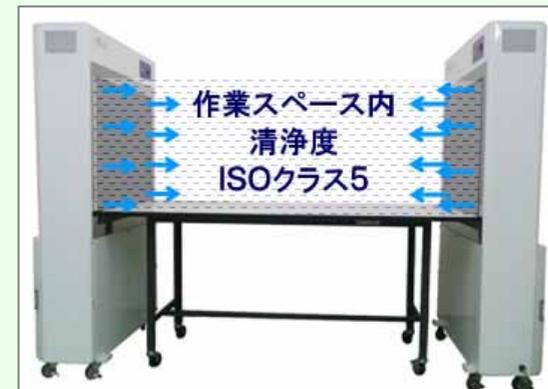
～オープン空間にクリーンベンチと同等の清浄度（ISOクラス5）を形成します～

オープンクリーンベンチ「KOACH（コーチ）」のプッシュフードからは、清浄化された一様流が吹き出します。対向させた2つのプッシュフードから吹き出す清浄化された一様流を衝突させること（対向型気流）で周囲の空気の侵入を抑制し、オープン空間にクリーンゾーンを形成させる、画期的な清浄空間形成装置です。（特許出願中）

オープンクリーンベンチ「KOACH」が作り出す気流“一様流”は、渦流とならず、風速・風向きが安定していてバラツキが無く、微風速でありながら長い気流到達距離を得ることが出来ます。この一様流により、吹出し面から離れた位置でも清浄度の低下はほとんど見られず、囲いの無いオープンタイプにもかかわらず広い範囲の清浄空間を形成することを実現しました。

今般、スタンダードタイプのKOACH900と1人作業タイプKOACH645の2機種を製品化しました。

これまで出品した各種展示会では、多業種の事業所・研究所から大きな反響を呼び、具体的なデモ依頼も数多く寄せられています。



KOACHの清浄空間イメージ図



KOACH 900
(スタンダードタイプ)



KOACH 645
(1人作業タイプ)

四半期貸借対照表の要旨

(百万円未満の端数切り捨て)

科 目	前第2四半期会計期間末 平成20年6月30日現在	当第2四半期会計期間末 平成21年6月30日現在	増 減
資 産 の 部			
流 動 資 産	6,413	6,968	554
現金及び預金	1,534	1,716	181
受取手形及び売掛金	3,005	3,257	252
たな卸資産	1,676	1,808	132
繰延税金資産	94	113	19
その他	106	75	31
貸倒引当金	4	4	-
固 定 資 産	9,356	9,665	308
有形固定資産	8,015	8,274	259
無形固定資産	23	22	1
投資その他の資産	1,317	1,368	50
資 産 合 計	15,770	16,633	862

四半期貸借対照表の要旨

(百万円未満の端数切り捨て)

科 目	前第2四半期会計期間末 平成20年6月30日現在	当第2四半期会計期間末 平成21年6月30日現在	増 減
負債の部			
流動負債	3,181	5,682	2,501
買掛金	254	245	8
短期借入金	1,100	1,100	-
1年内返済予定の長期借入金	1,216	1,445	229
1年内償還予定の社債	-	2,200	2,200
未払法人税等	121	200	78
賞与引当金	135	127	8
役員賞与引当金	15	16	1
その他	338	347	8
固定負債	5,058	3,268	1,790
社債	2,200	-	2,200
長期借入金	2,245	2,476	231
退職給付引当金	231	345	113
役員退職慰労引当金	375	427	52
その他	5	18	12
負債合計	8,239	8,950	711

四半期貸借対照表の要旨

(百万円未満の端数切り捨て)

科 目	前第2四半期会計期間末 平成20年6月30日現在	当第2四半期会計期間末 平成21年6月30日現在	増 減
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	7,403	7,607	204
資本金	674	674	-
資本剰余金	528	528	0
利益剰余金	6,245	6,446	200
自己株式	45	41	3
評価・換算差額等	103	36	66
その他有価証券評価差額金	103	36	66
新株予約権	24	38	14
純 資 産 合 計	7,530	7,682	151
負 債 純 資 産 合 計	15,770	16,633	862

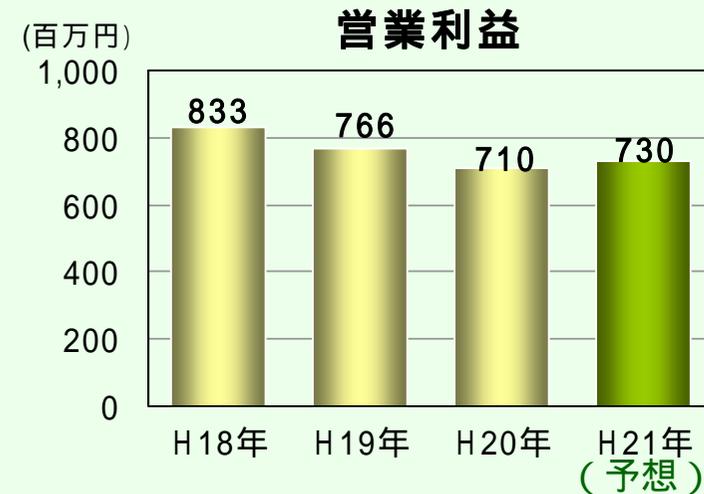
四半期損益計算書の要旨

(百万円未満の端数切り捨て)

科 目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増 減
	平成20年1月1日から 平成20年6月30日まで	平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで	
売 上 高	3,874	4,072	197
売上原価	2,080	2,185	104
売上総利益	1,794	1,886	92
販売費及び一般管理費	1,399	1,490	90
営業利益	394	396	1
営業外収益	23	14	8
受取利息	2	0	1
その他	21	13	7
営業外費用	78	102	23
支払利息	46	51	5
その他	32	50	17
経常利益	339	308	30
特別利益	8	31	23
特別損失	15	9	6
税引前四半期純利益	332	331	0
法人税、住民税及び事業税	115	203	88
法人税等調整額	30	52	83
四半期純利益	186	181	5

平成21年12月期の業績予想

平成21年12月期の業績予想 (百万円未満の端数切り捨て)



当第2四半期累計期間の業績は期初計画（業績予想）を上回りましたが、景気の先行き不透明感は依然として残っており、平成21年12月期第2四半期決算発表日（平成21年8月5日）での平成21年12月期の業績予想は、平成21年2月5日発表数値から修正いたしておりません。

ご 参 考

会社の経営の基本方針

当社は、人間の生命の価値を最も高いものと考え、それに直接係わる『クリーン，ヘルス，セーフティ』を業務テーマとし、オリジナリティの高い技術をベースとした製品を供給することにより、社会に貢献することを目的に活動しております。

そして、その実現の為に、人間の尊厳であるイマジネーションとクリエイションの発揮を社員全員に求め、結果として「他社に追随しない」「徹底して研究する」ことで、新たな技術革新と独創的な製品開発をし続けることを、経営の基本方針としております。

中長期的な会社の経営戦略

会社の経営の基本方針に基づき、マスク関連事業部門では、海外への市場展開も視野に入れながら、国内における地位の向上を一層強化してまいります。加えて、医療分野をはじめとした新しい市場への開拓を進めることで、環境関連事業部門を当社の主要事業として育成し、もって研究開発型の総合環境企業としてのゆるぎない地位の確立を目指してまいります。

利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、安定的な配当の維持及び向上を図ることを基本方針としております。

なお、内部留保金につきましては、より一層の経営基盤強化のため、新技術・新製品の研究開発活動及び設備投資等に有効活用し、将来の継続的發展を図ってまいりたいと存じます。

会社の対処すべき課題

近年わが国においては安全への意識が急速に高まり、「安全文化」という考え方が社会に浸透し始め、優良企業体においては安全を無視して存立を続けることが難しいとの考えが定着し始めています。また行政においても安全確保を目的に法整備、規制強化が図られています。

当社は、これ等業界、行政の安全への取り組みにともなう要望に対し、的確に応えられる製品開発、供給体制を整えることを求められています。

【マスク関連事業部門】

- ・ 電動ファン付き呼吸用保護具**プレスリンクブローマスク**の製品価値のさらなる向上と、トンネル作業、溶接作業をはじめとした様々な市場への浸透を推進し、国内における市場占有率の拡大を図ります。そして海外市場も視野に入れ当事業部門の核となる製品に育ててまいります。
- ・ 官民の天災・人災に対する防災意識の高まりや、テロ、パンデミック（感染症の世界的流行）等の新たな危機への対応の必要性が増大している中、当社は、これらの社会的要請に応えるべく、産業用のみならず、消防救助や救命救急用の保護具・機器に加え、医療施設向けの**感染対策用マスク**や一般市民向けの火災特殊災害避難用など、エマージェンシー対応製品の提案を行ってまいります。
- ・ 防じんマスク・防毒マスクをはじめとする呼吸用保護具は、その防護性能を十分に発揮させるためには適切に使用することが必要で、特に顔とマスクのフィット（密着）の確認が重要です。当社は、フィットしやすい面体技術を追求するとともに、フィットをはじめとした装着や使用方法等を顧客に伝える活動を今後も継続してまいります。



プレスリンク
ブローマスク



感染対策用マスク

【環境関連事業部門】

- ・ 今、医療の現場では、感染対策の早期整備やホルムアルデヒド（ホルマリン）等の化学物質の規制強化にともなう個人ばく露対策、換気対策が求められています。当社はこれまで医療施設における感染リスク、安全衛生リスクを独自の技術によって低減する全自動内視鏡洗浄消毒装置や**ホルムアルデヒド対策用換気装置**を販売し、高い評価をいただいております。今後も感染・安全衛生リスク対策の啓発活動を継続するとともに、医療施設向けのシステム・製品開発に取り組み、“医療分野を産業分野に次ぐ第2の市場に育成する”という経営目標の実現に努めてまいります。



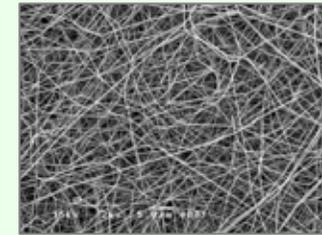
ホルムアルデヒド
対策用換気装置

【新事業への取り組み】

- ・ 当社の環境関連事業部門には、オープン型のドラフトチャンバーとして他社の追随を許さない**卓上型プッシュプル換気装置「ラミネーターテーブル」**があります。本製品は医療施設のホルムアルデヒド対策用換気装置の市場拡大を牽引し、現在、急激に売上を伸ばしております。当社の研究開発は、「他社より先に洞察してスタートを切る」ことを重要視しており、この換気装置もその考えから生まれた製品の1つです。
- ・ 当社では、平成20年11月に**ナノファイバーフィルター「FERENA」とオープンクリーンベンチ「KOACH」**の技術開発に関するニュースリリースを行いました。当社にとってこの2つの技術は、次世代を担う新事業への布石でありクリーンビジネスへの本格的参入を意図するものであります。今後も収益基盤の拡充へ向けた市場創造型製品の開発に積極的に取り組んでまいります。



卓上型
プッシュプル換気装置
「ラミネーターテーブル」



ナノファイバーフィルター
「FERENA」

【環境問題への取り組み】

- ・ 環境問題への取り組みは、多くの企業が経営の重要課題の1つとしており、当社は顧客の環境問題対策に寄与する製品開発及び提案を行ってまいります。当社が販売する**プッシュプル型換気装置「コーケンラミネーター」、電動ファン付き呼吸用保護具「プレスリンクブロウマスク」、磁気式水処理装置「エコビーム」**はすべてCO₂排出抑制に大きく寄与することから、そうした環境面から訴求する営業も展開してまいります。
- ・ 当社の取り組みといたしましては、資源の循環、廃棄物低減等による地球環境への配慮という観点から、環境負荷の少ない原材料の選定や製品設計を行うとともに、残反を再加工した「バイプロミクロンフィルター」使用製品の開発を既に行っております。それに加え、使用済みの防じんマスク用フィルターと防毒マスク用吸収缶を新しい資源として再利用する「リサイクルシステム」をこれからも積極的に推進し、環境負荷の低減はもちろん、顧客の廃棄物処理負担の軽減に役立ててまいります。



オープンクリーンベンチ
「KOACH」



プッシュプル型
換気装置
「コーケンラミネーター」

【製造力強化】

- ・ 需要の増大や新市場への展開を進めるため、製造本部を軸としたテクノヤード（製造拠点）の製造力強化を図ってまいります。



電動ファン付き
呼吸用保護具
「プレスリンク
ブロウマスク」



磁気式水処理装置
「エコビーム」

事業等のリスク

当社の事業、経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。

なお、文中における将来に関する事項は、本資料の発表日現在において当社が判断したものです。

研究開発について

当社は、研究開発型の総合環境企業として「クリーン,ヘルス,セーフティ」に係わる革新性の高い製品を市場に供給することを目的に経営資源の投入を行っておりますが、研究開発の全てが、新製品の開発や営業収益の増加に結びつくとは限らず、また、諸事情により研究開発を中止せざるを得なくなった場合は、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

また、当社はオリジナリティの高い技術をベースとした製品開発について、必要な知的財産保護手続きを行い、既に特許等も多数保有しておりますが、その独自の技術を法的制限のみで完全に保護することには限界があり、第三者が当社の知的財産を使って模倣品や類似品を製造、販売することを防止出来ない可能性があります。そういった事象が発生した場合は、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

法的規制について

当社の事業は、「労働安全衛生法」「薬事法」「製造物責任法」等の様々な法規制に関連しておりこれら法規制を遵守すべく、コンプライアンス体制の強化と内部統制の整備を今後さらに進めてまいります。

万一これらの法規制に適合しない事象が発生した場合、製品の回収や当社が進めている事業に制限が出る可能性があります。また、新たな法規制の制定や改正がなされた場合は、設備投資等の新たな費用が発生することにより、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

品質保証・品質管理について

当社の製品は、過酷な環境下での使用が想定されることに加え、使用者の安全と健康を守るという製品の特徴から、より高い耐久性、信頼性が求められております。

当社は、社長直轄の品質に関わる独立した部門である品質保証室を設置するとともに、ISO 9001に基づく品質マネジメントシステムを構築及び維持することにより、万全な品質保証体制を取っております。そして品質保証室は、各テクノヤード（製造拠点）に製品検査員を配置し、テクノヤードの製造工程、検査工程の監視を行い、テクノヤードは、日本工業規格、厚生労働省国家検定規格及び当社独自の厳格な品質保証・品質管理基準による製品の製造を行っております。

以上万全な品質保証・品質管理体制を維持、強化いたしておりますが、厚生労働省の呼吸用保護具買取り試験による不適合の指摘を予期せぬ要因で受たり、製品の欠陥及び故障が発生した場合は、回収、修理費用等の負担などにより、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。今後、さらなる品質保証・品質管理体制の強化を図ってまいります。

災害等について

地震等の自然災害や事故等によって、生産活動の停止等、事業活動の継続に支障をきたす事象が発生した場合、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。なお、製造拠点であるテクノヤードは、受診した地震リスクの調査結果に基づいた事業継続計画の立案に着手・実行しております。

環境問題について

当社の研究所とテクノヤードの計2ヶ所において、過去に発生したトリクロロエチレンによる土壌・地下水汚染の浄化対策を継続的に実施し、順調に浄化が進んでおりますが、浄化が完了する時期の想定が現在のところ難しく、浄化対策が長期間を要した場合、その対策に関わる費用は、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

本資料の平成21年12月期業績予想数値及び将来に関する事項につきましては、平成21年12月期第2四半期決算発表日(平成21年8月5日)現在において、入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る平成21年12月期第2四半期決算発表日現在における仮定を前提としております。今後、様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

興研株式会社
広報・IR室

TEL 03-5276-1932
FAX 03-5276-6530
E-メール ir@koken-ltd.co.jp
ホームページ http://www.koken-ltd.co.jp